



XBRL International

www.XBRL.org

日本銀行 金融高度化セミナー

日本銀行におけるXBRLへの取り組みについて

2005年12月

日本銀行 金融機構局
和田 芳明

Transforming Business Reporting

1. 日本銀行の役割と実証実験への取組み

- 日本銀行のオンサイト考査、オフサイトモニタリングの対象金融機関と実証実験への参加先
- 日本銀行における各種情報の授受と金融機関モニタリング等への利用

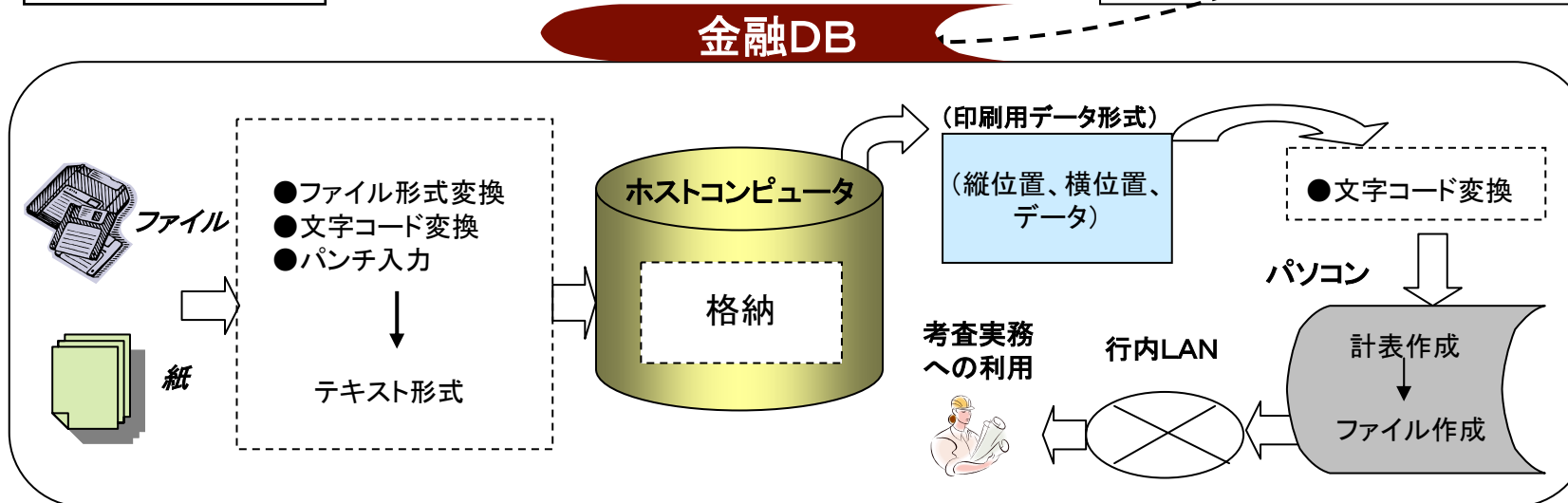
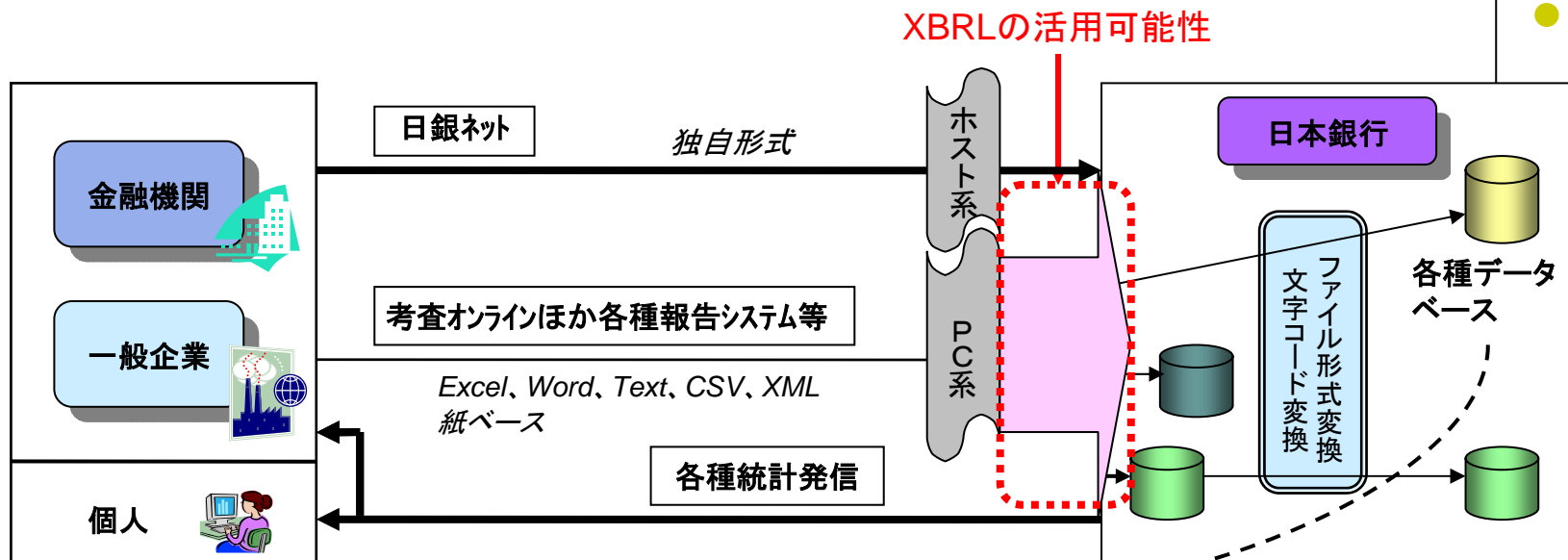
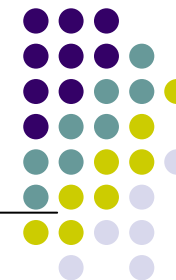


日本銀行のオンサイト考査、オフサイトモニタリングの 対象金融機関と実証実験への参加先





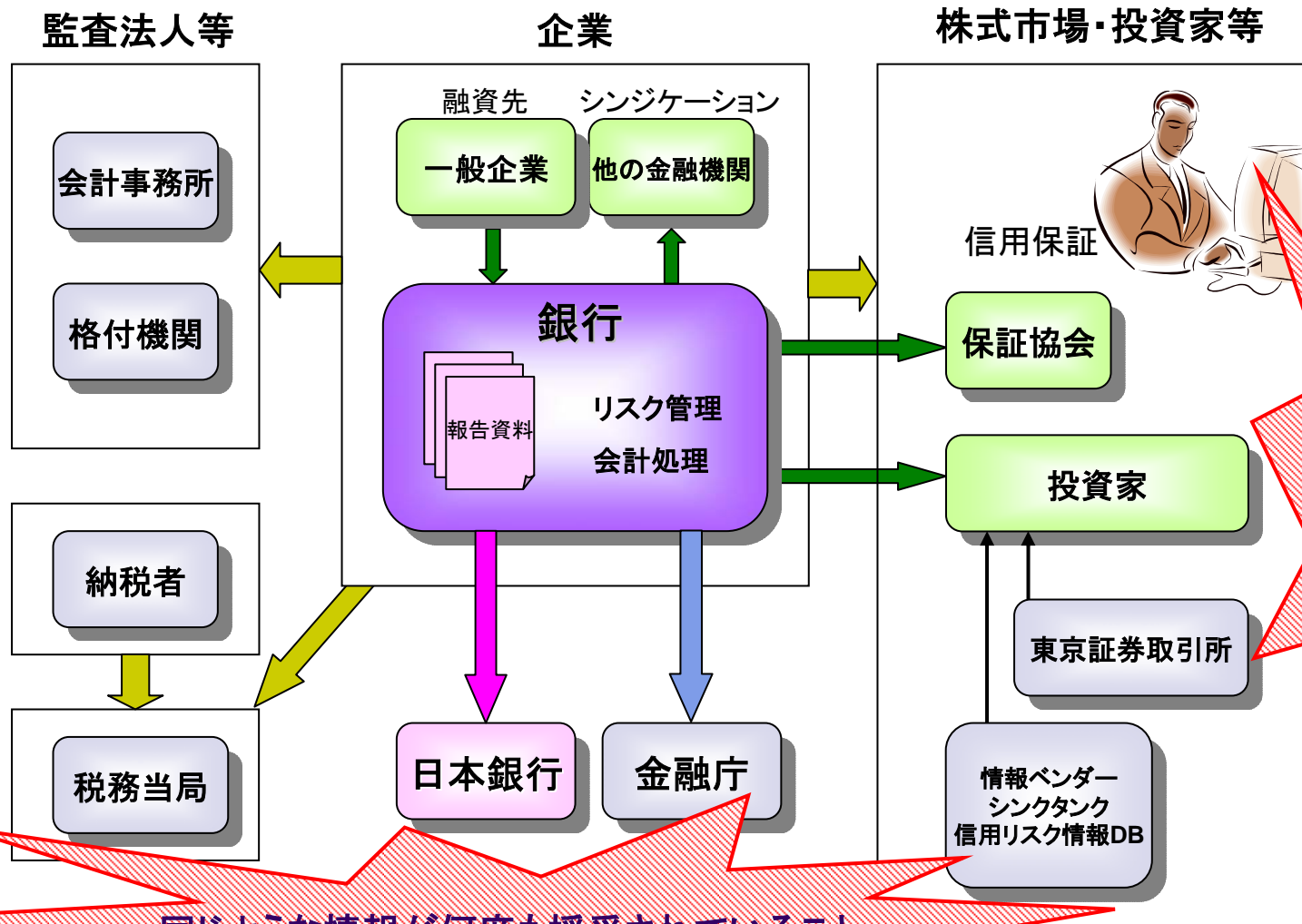
日本銀行における各種情報の授受と金融機関モニタリング等への利用 —— 日本銀行にとってのXBRLの活用可能性



2. 財務情報サプライチェーン効率化の必要性

- 金融における財務情報サプライチェーンと課題
- XBRLに期待される効果

◆ 金融における財務情報サプライチェーンと課題



電子化された情報でも他のコンピュータが直ちに解読できるとは限らないこと

同じような情報が何度も授受されていること

共通する情報は出来るだけ容易に使いまわしが出来ないか？

XBRLに期待される効果



- 情報の再利用を容易にし、授受コストの低下を可能に

—— 繰り返し利用される情報ほど授受コストの低下メリットが大きい

- 様々なコンピュータに扱いやすいデータ形式であり、情報の高度利用が可能に

—— コンピュータによる自動処理、データ精度の向上、など

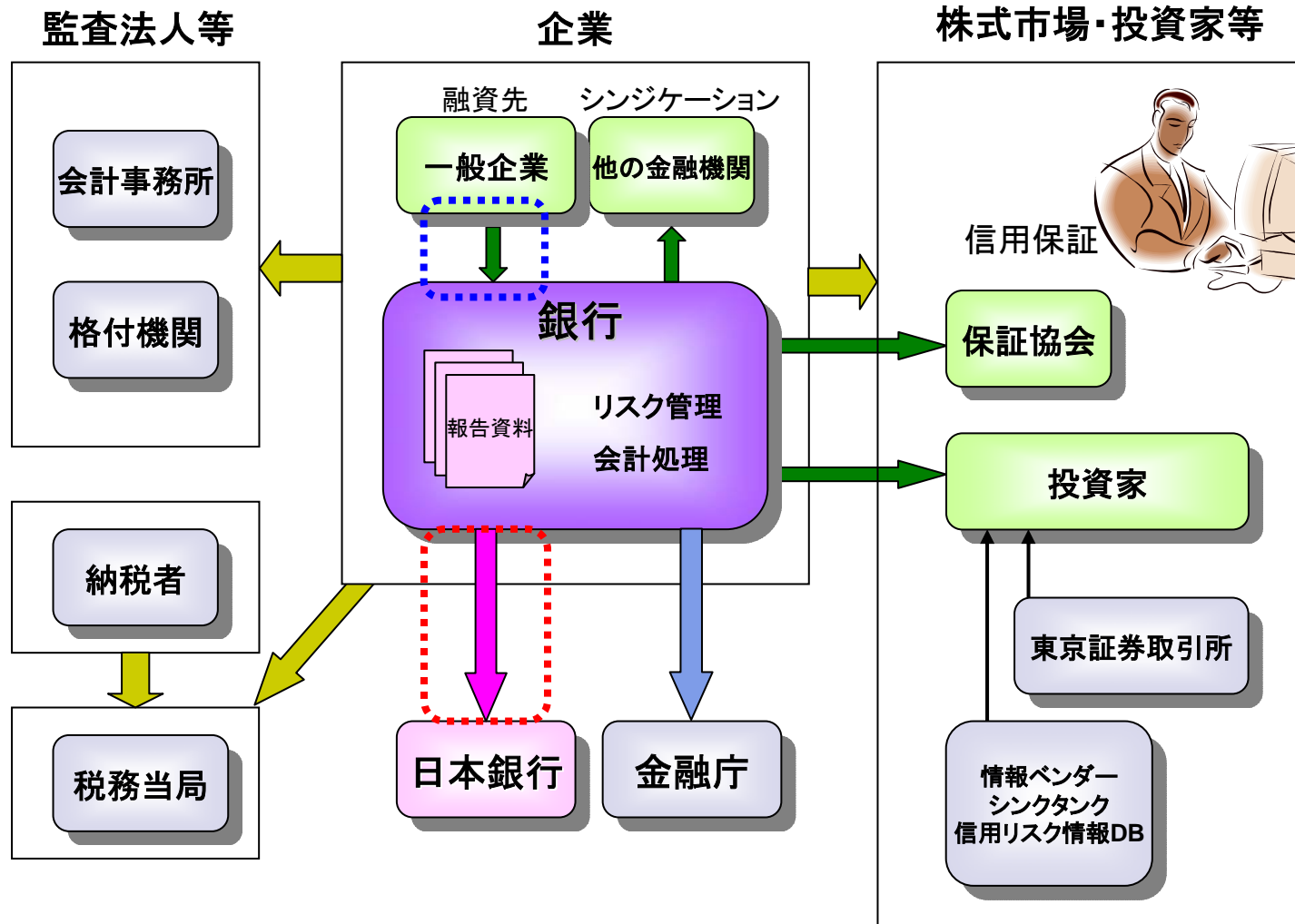


金融情報インフラの効率化、金融システムの高度化



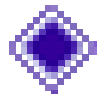
社会的厚生 of 改善

金融における財務情報サプライチェーンと課題



3. なぜXBRLなのか

- XBRLの技術的特長
- 実務利用に当たってのポイント



XBRLの技術的特長



① データの再利用性の高さ

財務諸表の表示に用いられることが多いHTMLなどのデータ形式に比べ、データの再利用が容易であること

② 高いシステム互換性

専用コードで記述されている他の言語に比べると、汎用性が高く、ホストコンピュータ、サーバ、パソコン等いずれでも処理が容易であること
また、オープンな規格であること

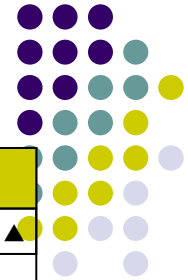
③ 自動処理に適していること

予めデータ間の相互関係が定義されており、整合性(エラー)チェックが容易(エラー内容の各国語表示が可能)であるほか、データの属性も定義されていることからデータ毎の処理方法等をシステムが自動的に判断可能であり、STP処理に適していること

④ 項目の概念・定義のより正確な理解

WEBへのリンクが可能であり、データの作成者や利用者が、項目毎の定義情報を当該定義を記載したWEBページで容易に参照可能であること

フォーミュラーリンクによるエラーチェック機能



フォーミュラチェック

第1部【概説】
(クリック)

1. 【主要な指標などの推移】

(1) 指標

年次	10	11	12	13	14	15	16
年月	1999-03	2000-03	2001-03	2002-03	2003-03	2004-03	2005-03
売上高	10,000,000	20,000,000	3,000,000	40,000,000	50,000	6,000,000	7,000,000
経常利益	555,555	111,111	222,222	33,333	444,444	666,666	777,777
当期純利益	555,555	△ 111,111	222,222	33,333	△44,444	△ 77,777	666,666

2. 【沿革】

XXXXXXXXX
XXXXXX

エラー一覧 (式)と(式の日本語表示<日本語メッセージ>)を一覧表示

売上高－経常利益>0 売上高 ひく 経常利益 は 0より大きくなければいけません

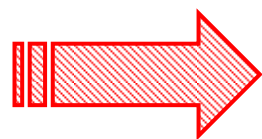
コメント一覧

四捨五入処理を実施しています

XBRLの実務利用に当たってのポイント

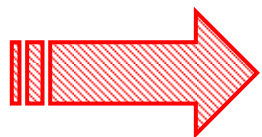


- 誰でも使える技術であること



一連の実証実験を通じて確認

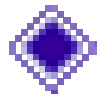
- より効果を発揮するためには、広く社会インフラとして普及する必要があること



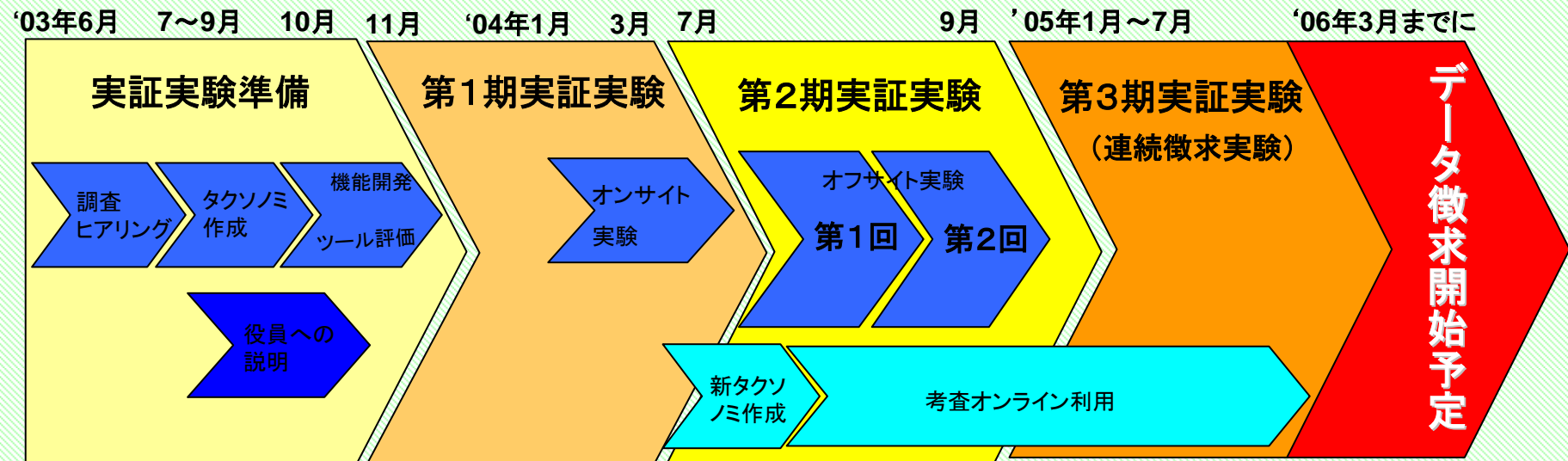
普及のために幅広い理解と協力が必要

4. 日本銀行における具体的な取組み

- 実証実験の歩み
- 実験の概要
- 実験結果のサマリー



実証実験の歩み





実験の概要



● 実験の目的

- ・ 金融機関と共にXBRLに対する理解を深めること
- ・ XBRLの有用性を、技術・運用の両面から確認すること

● 実験参加者

- ・ 第1期 ————— 都市銀行4行 (XBRL- Japan 加盟行)
- ・ 第2期 (第1回) —— 地方金融機関等31先
(第2回) —— 都市銀行4行 (XBRL-Japan加盟行)
- ・ 第3期 ————— 都市銀行等3行 (XBRL- Japan 加盟行)

● 実験期間

- ・ 第1期 : 2003年11月～2004年3月
- ・ 第2期 : (第1回) 2004年7月
(第2回) 2004年9月
- ・ 第3期 : 2005年2月～7月

◆ 実験結果のサマリー



- **タクソミの構築とフォーミュラーリンクの機能の確認**
 - 構築したタクソミの作動とフォーミュラーリンクによるエラーチェック機能の有効性を確認
- **実験参加金融機関によるXBRL形式のデータファイル作成**
 - 既存のExcelファイルからXBRLインスタンスドキュメントに問題なく変換出来ることを確認
- **金融機関から送付されたXBRL形式のファイルの再現**
 - 金融機関から送付されたXBRLインスタンスドキュメントを日本銀行側で問題なく再現できることを確認
- **最も重要な結果は……**
 - 特別な専門知識がなくてもXBRLを利用してデータ授受を行えることが確認できた点

5. 実用化に向けて

- 実用化へのステップ
- 運用スキーム
- 運用上のポイント
- 入力ツールのイメージ
- 総合運転試験

◆ 実用化へのステップ



① 2006年3月までに

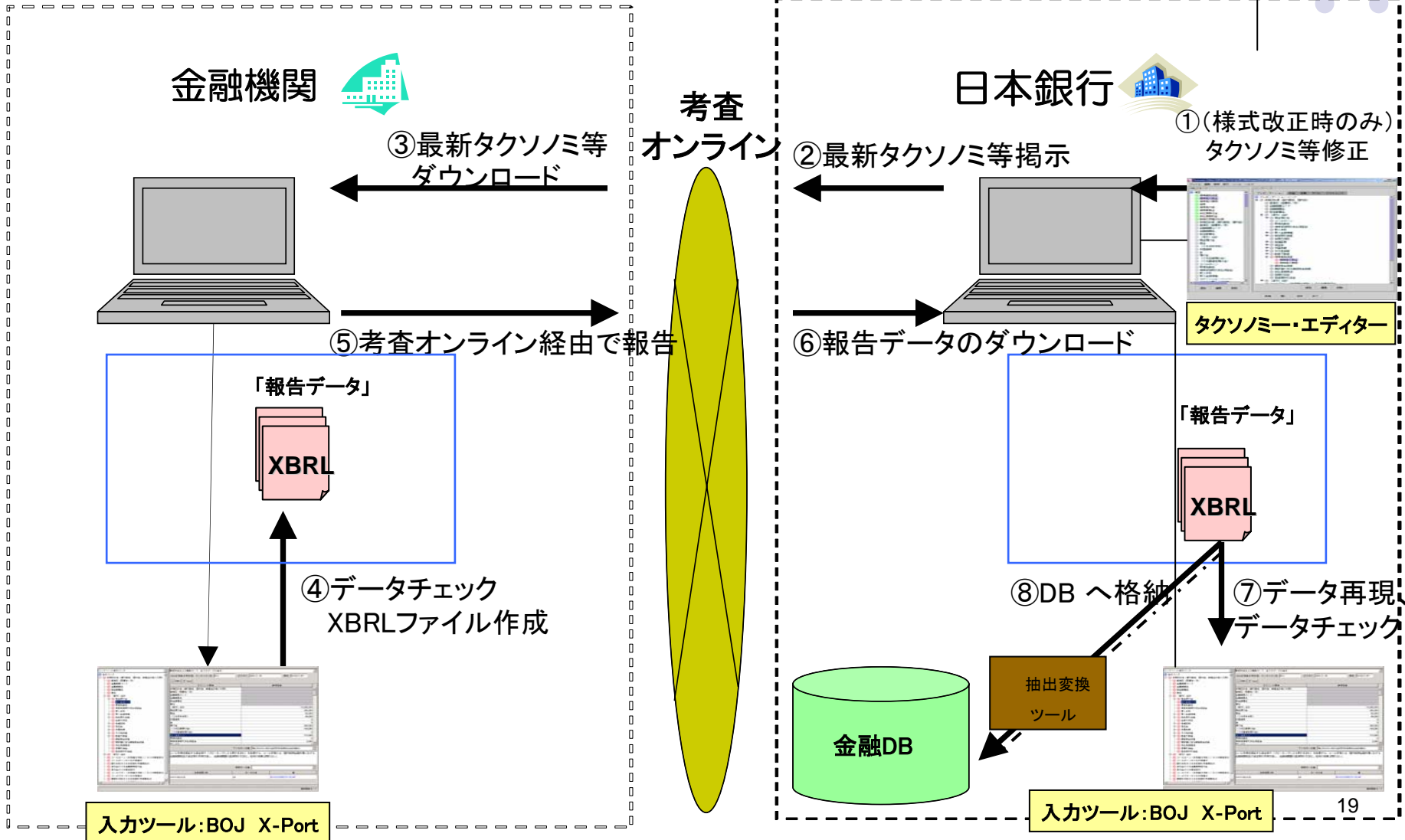
- 月次B/Sデータ(日計表)のXBRL形式による授受を開始

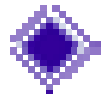
② その後

- 報告対象計表を順次拡大
⇒ 決算関係報告、各種データ報告等

◆ 運用スキーム

(2006/3月までに稼動開始予定)





運用上のポイント①

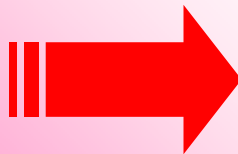


・タクソノミやXBRLデータの作成・読み取りツールは日本銀行側で準備し、金融機関に配布

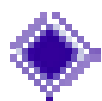


金融機関側では新たなシステム対応の必要なし

・金融機関側では、同ツールをパソコンにインストールし、審査オンライン経由でタクソノミをダウンロードした後に、予めExcelフォームに作成しておいたデータからXBRLファイルを作成



簡単な操作でXBRL形式のファイル作成が可能



運用上のポイント②

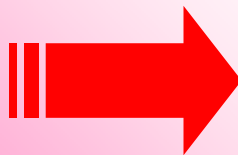


- ・ XBRLのフォーミュラーリンク機能により、データのエラーチェックと訂正を行った後に、審査オンライン経由にて日本銀行宛てにファイルを送信



送付データの精度向上が期待可能

- ・ 日本銀行では、審査オンライン経由で受信したXBRLファイルを前記ツールにより見読、利用

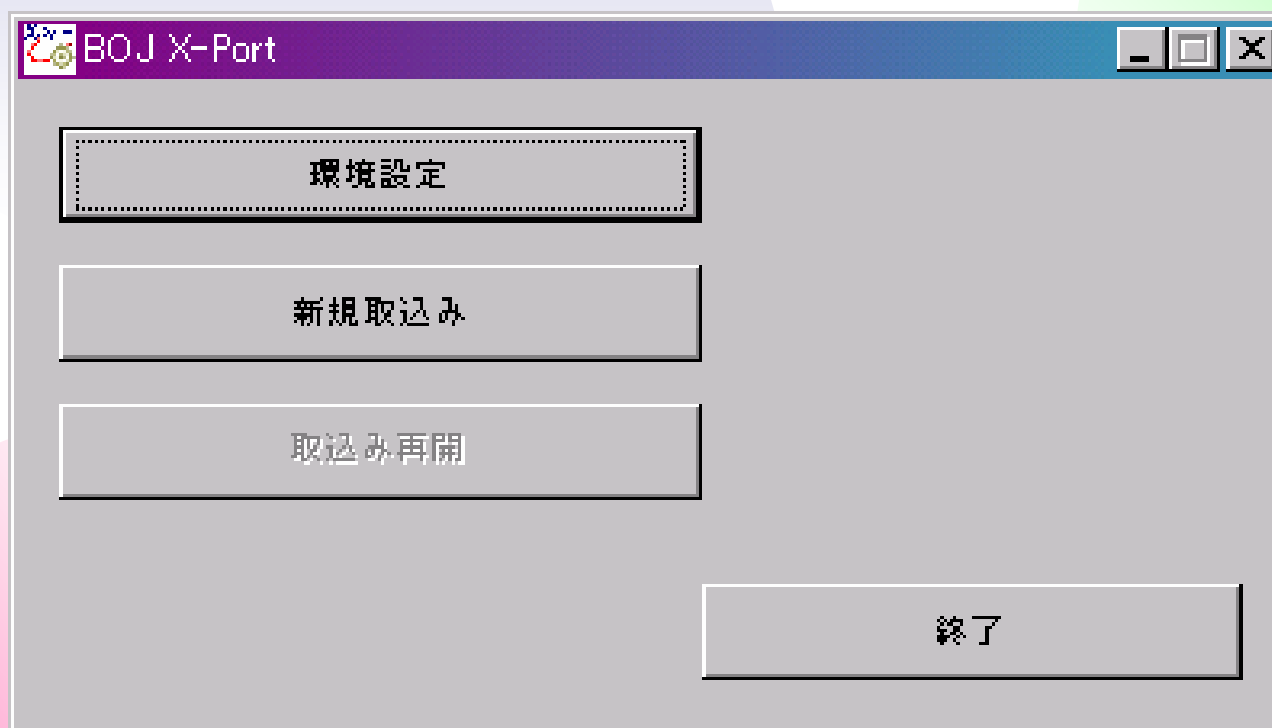


今後、XBRLデータの高度活用を指向

◆ 入カツールのイメージ①



起動画面



◆入カツールのイメージ②



Excelファイルの取込み画面

取込み設定

基準日 : 2010 年 2 月

報告データ収録フォルダ : D:\My Documents\Design\BOJ\documents\06.IT\テストデータ\SI用data\報告EXCEL\01全銀\一般銀行

参照

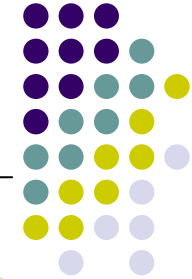
了解 取消し

新規取込み中

状態 :

解析中です(3/3 : N01_6_計数_日計表_FN003_200503_様式....)

入カツールのイメージ③



Excelファイルの取込み画面

BOJ X-Port
ファイル(F) 編集(E) ツール(T)

計表一覧

計表	エラー	AF87	75%
月中平残日計表	2		

No.	ID	メッセージ	計算式	エラーコメント
		貸方合計引く預金引く譲渡性預金引くコールマネー引く売(貸)方合計 - 預金 - 譲渡性預金 - コールマネー - 売現先勘定		
		現先勘定引く債券貸借取引受入担保金引く売渡手形引く - 債券貸借取引受入担保金 - 売渡手形 - コマーシャルペー		
		コマナルペー引く借入金引く外国為替引く短期社 - 借入金 - 外国為替 - 短期社債 - 社債 - 新株予約権		
		債引く社債引く新株予約権付社債引く信託勘定借引く付社債 - 信託勘定借 - その他負債 - 貸与引当金 - 役員貸与		
		負債引く役員貸与引当金引く役員貸与引当金引く役員貸与引当金引く役員貸与引当金引く役員貸与引当金引く役員貸与引当金		

エラーコメント

項目コメント エラーコメント

エラー一覧

エラーコメントの追加
エラーコメントの編集
エラーコメントの削除

◆ 入カツールのイメージ④



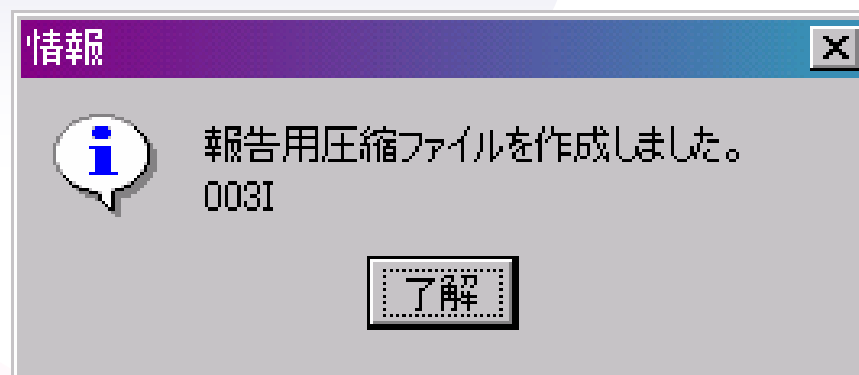
エラーコメントの設定画面

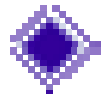
A screenshot of a software dialog box titled "エラーコメントの追加" (Add Error Comment). The dialog has a purple title bar with a close button (X) in the top right. Below the title bar is a dropdown menu showing "(新しいエラーコメント)". Underneath is a label "入力欄" (Input Field) followed by a large text area containing the text "エラーコメント|". At the bottom of the dialog are two buttons: "了解" (OK) and "取消し" (Cancel).

◆ 入カツールのイメージ⑤



報告用ファイルの作成画面





総合運転試験



目的

- 本番稼動前の操作確認と習熟

時期

- 2006年1月に実施
⇒ 詳細案内、ツール等は年内に発送予定

最後に...

ご清聴有難うございました